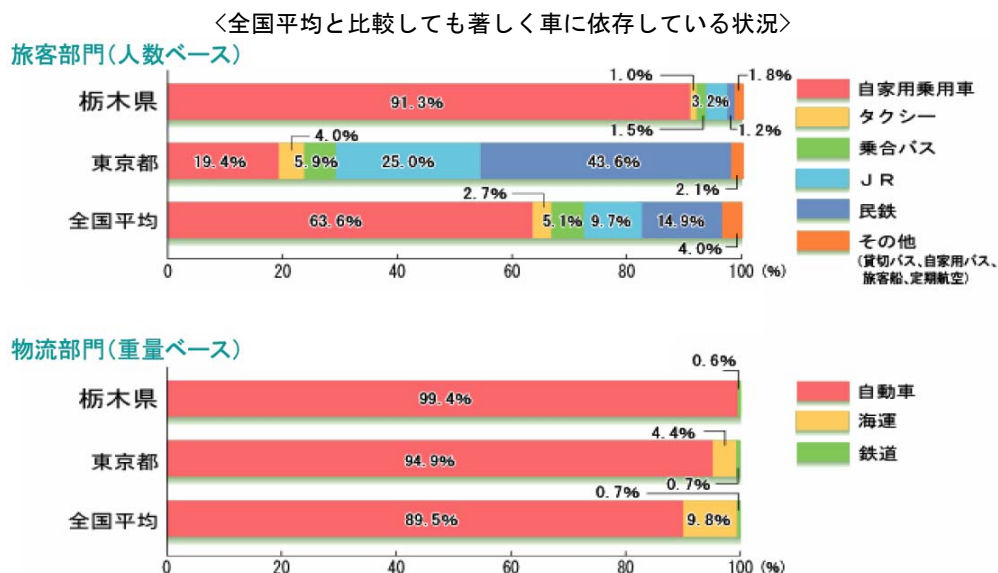


参 考 资 料 编

交通の現状と課題

○過度な自動車への依存

道路整備が計画的に進められ、自動車の利便性が向上し、人々の行動圏域が広域化する一方、結果として過度な自動車依存を促進しています。



資料：「平成 15 年度旅客地域流動調査」を基に作成

図 交通機関別分担率

○公共交通空白地域

従業人口に対するカバー率も約7割の水準で、公共交通空白地域に約3割（約7万人）が従業しています。

市街化区域においては、約8割がカバーされており、従業人口の約2割（約3万人）が空白地域に従業しています。

	①都心部	②周辺市街地	③東部産業拠点	④その他市街地	市街地部小計 (①+②+③+④)	⑤郊外部	宇都宮市計
全従業人口(人)	44,883	114,525	10,503	2,845	172,756	44,874	217,630
公共交通圏従業人口(人)	44,883	91,281	3,728	1,137	141,029	11,223	152,252
公共交通カバー率	100%	80%	35%	40%	82%	25%	70%
うちバス圏従業人口(人)	43,904	74,767	3,728	1,137	123,537	8,338	131,875
バスカバー率	98%	65%	35%	40%	72%	19%	61%

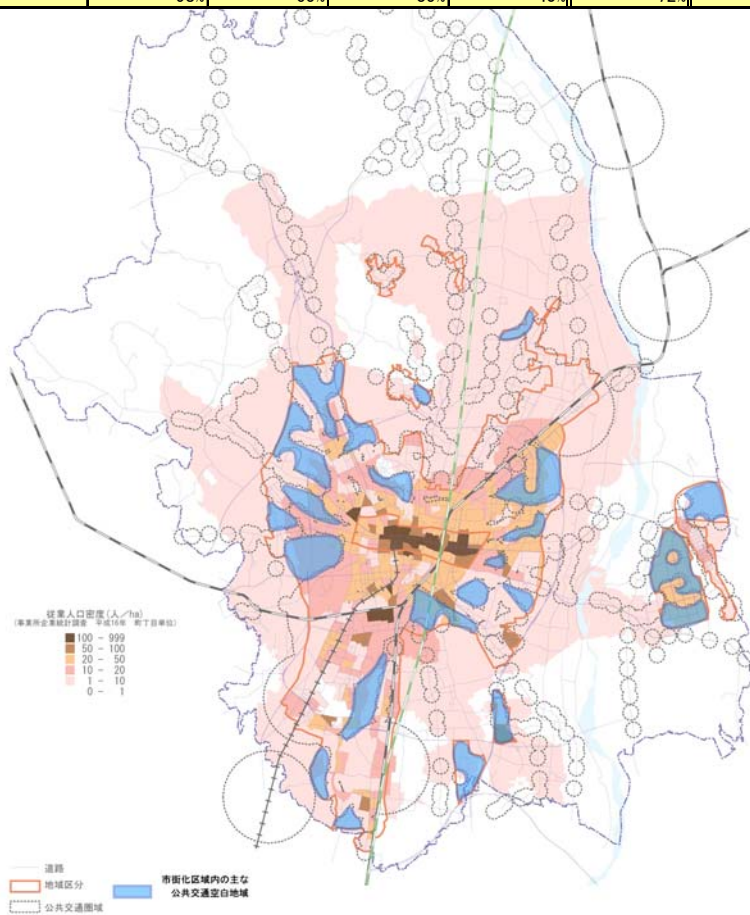


図 公共交通利用圏と従業人口密度

○公共交通不便地域

運行頻度2本/時以上の従業員人口カバー率でも約6.5割程度であり、残りの約3.5割(約6万人)が公共交通空白・不便地域で従業しています。

公共交通不便地域は、JR宇都宮線東側に多く、東部産業拠点に至っては全域が公共交通不便地域です。

	①都心部	②周辺市街地	③東部産業拠点	④その他市街地	市街地部小計 (①+②+③+④)	⑤郊外部	宇都宮市計
全従業員人口(人)	44,883	114,525	10,503	2,845	172,756	44,874	217,630
公共交通圏従業員人口(人)	44,847	67,455	0	198	112,500	4,548	117,049
公共交通カバー率	100%	59%	0%	7%	65%	10%	54%
うちバス圏従業員人口(人)	35,304	34,121	0	198	69,623	1,672	71,295
バスカバー率	79%	30%	0%	7%	40%	4%	33%

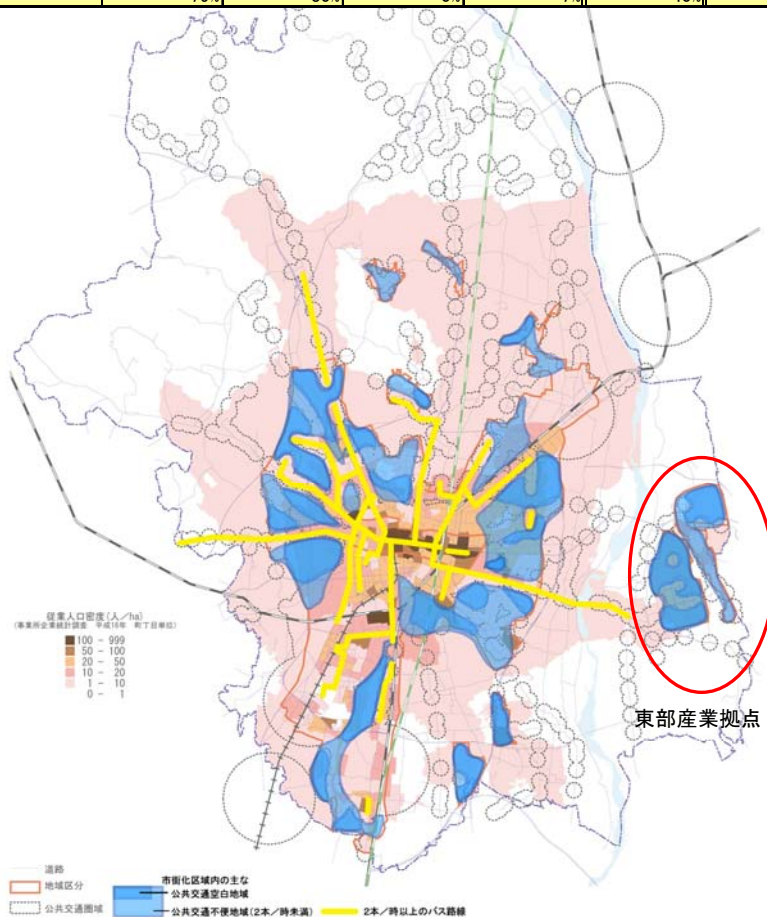
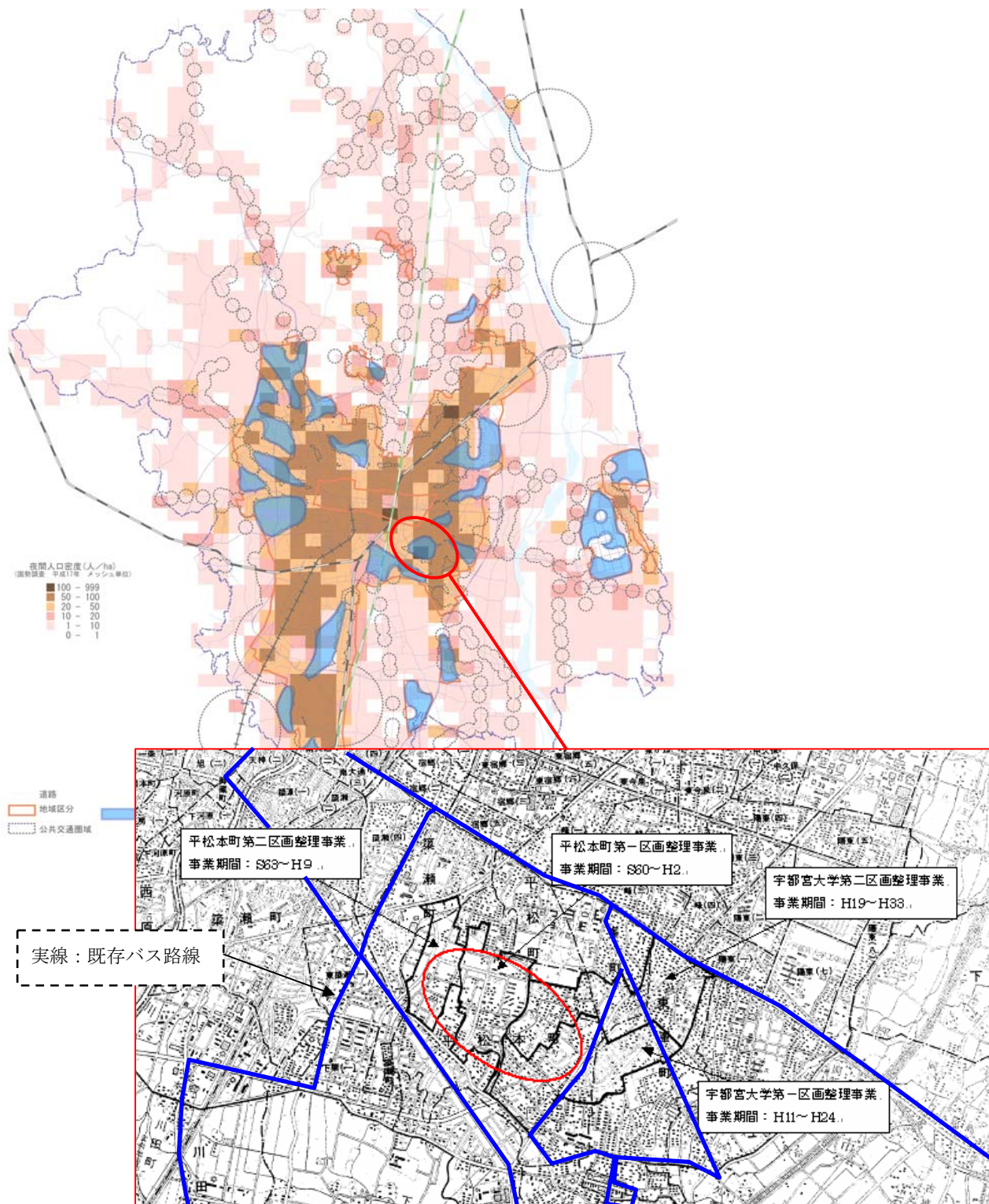


図 2本/時以上の公共交通利用圏(従業員人口)

○市街地の拡大

区画整理事業や開発行為等により、急激な宅地の利用増進がなされ市街地が拡大しましたが、まちづくりと公共交通の整備の連携がなされないことにより、公共交通空白・不便地域が拡大しました。

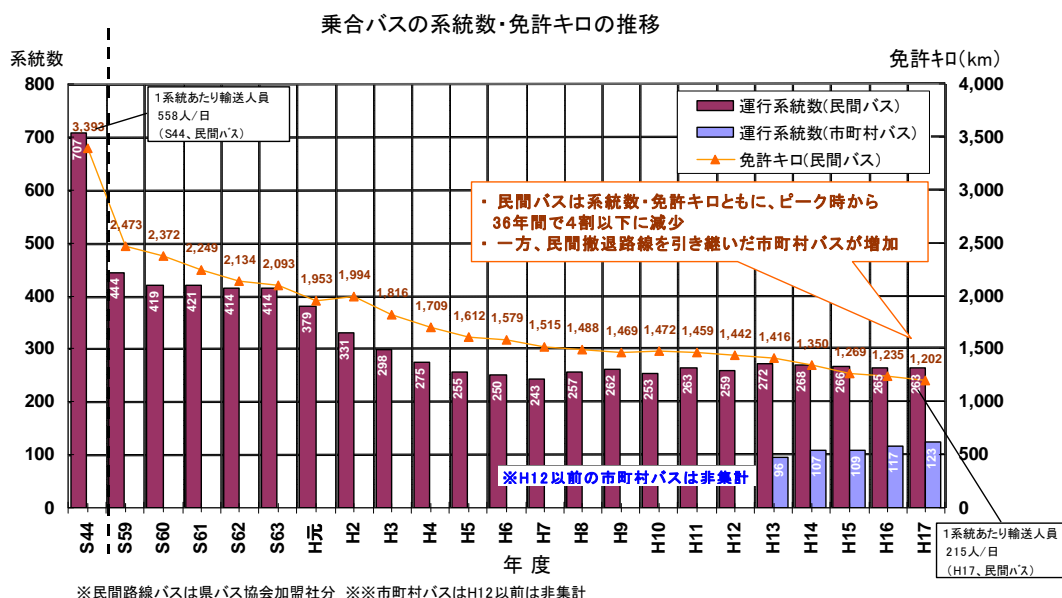


※上に示す地域は、昭和60年以降、区画整理による宅地の利用増進が続けられ、人口密度が高まっているものの、公共交通の空白地域となっており、結果的にまちづくりと公共交通整備がリンクなされていない。

○独立採算による公共交通網の維持が困難

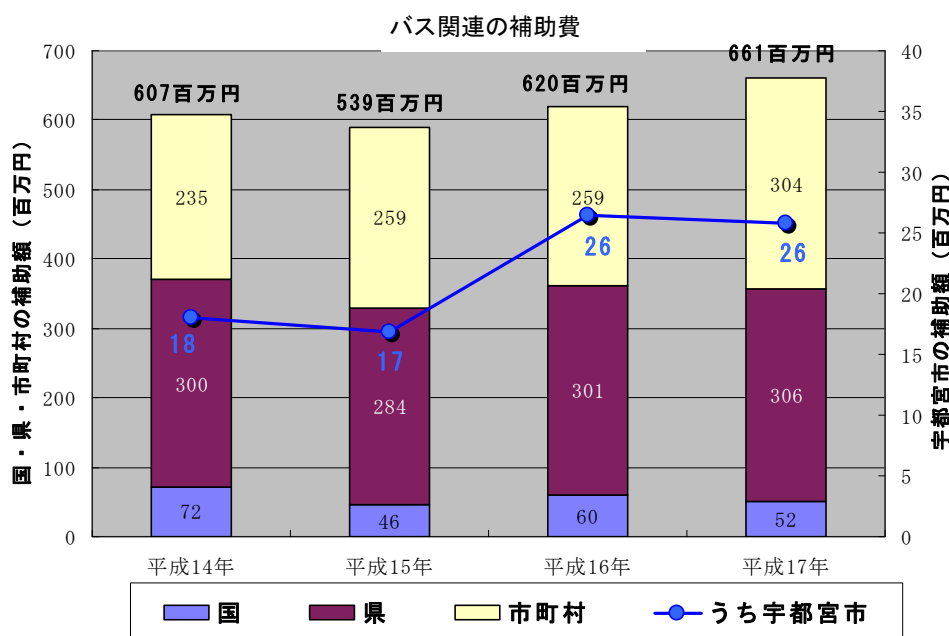
都市内の移動を担う鉄道やバス等の公共交通は、モータリゼーションの進展により利用者が減少し厳しい経営を強いられている状況であり、サービスレベルの低下が懸念されます。

特にバス路線の維持に対し、行政は事業者に一定の支援を行ってきましたが、効果的な利用促進など、事業者・市民・行政の連携が不十分な状況です。



出典：栃木県資料

図 県内の乗合バスの系統数・免許キロの推移



※不採算バス路線の運行費及び車両購入に対する、国・県・市町村の協調補助額 (市町村の単独補助は含まない)

資料：栃木県、宇都宮市資料を基に作成

図 県内のバス関連の補助費の推移 (栃木県内)

○バスの現状

宇都宮市関連のバスの利用者は減少傾向にあり、ここ数年は微減となっているものの、20年間で半減しており、県内においては、民間事業者によるバス路線が減少し、市町営バスが増加する傾向となっています。

現状において、運転者の確保に関して不安を抱えているバス事業者もあります。

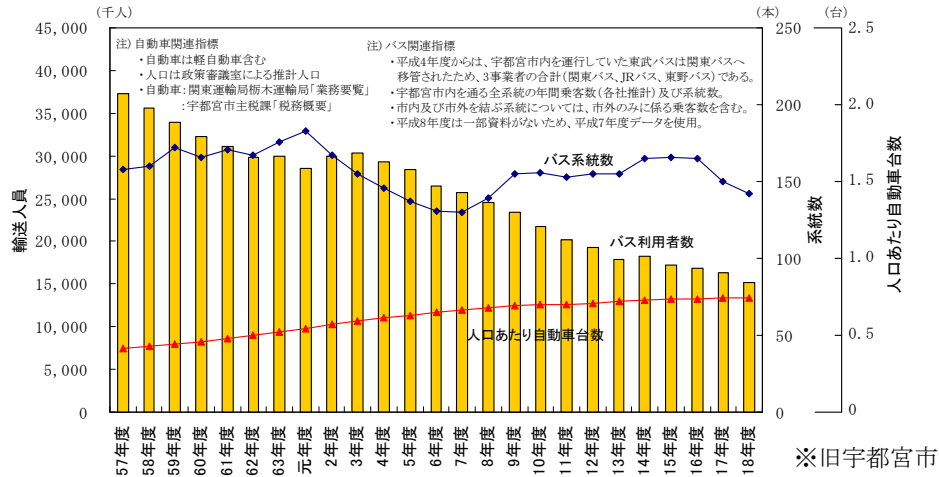


図 バス利用者数の推移（宇都宮市）

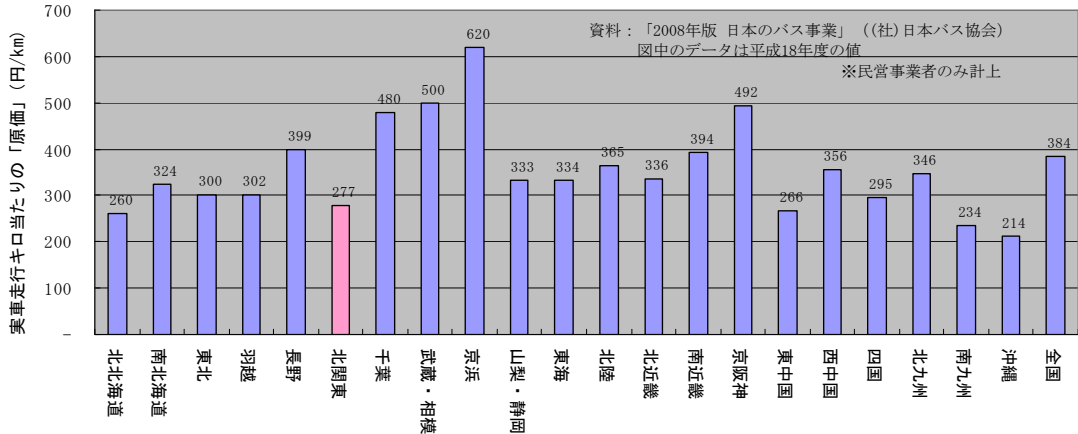


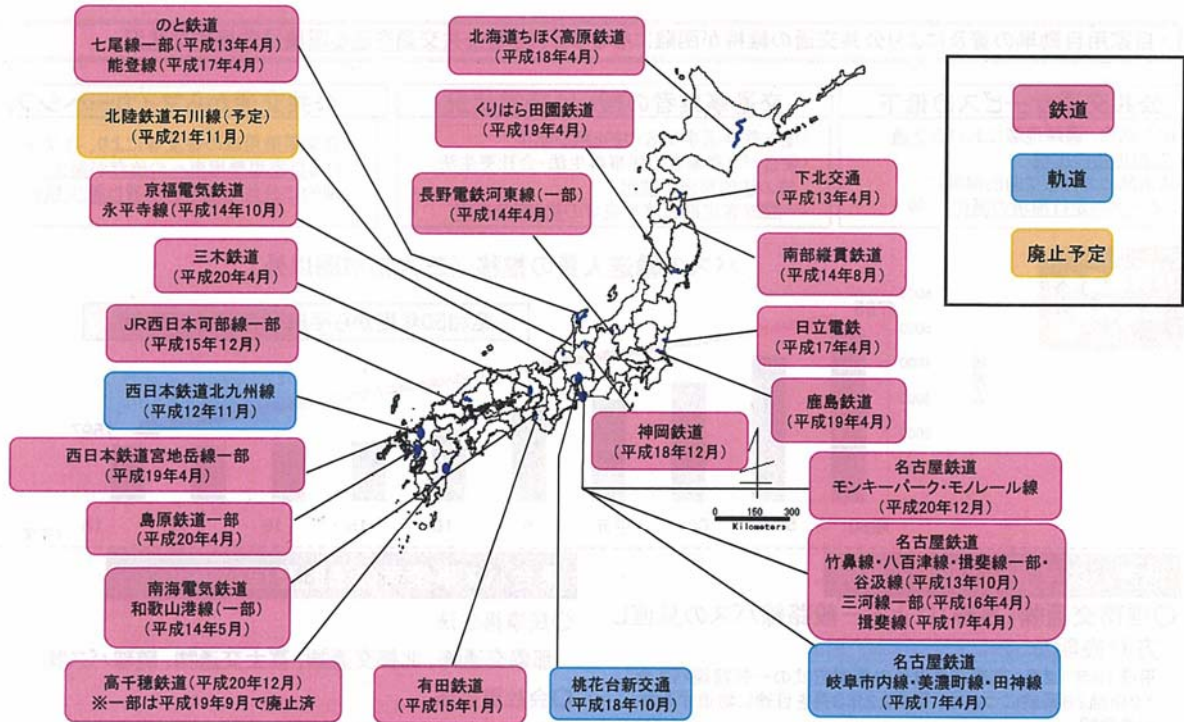
図 全国ブロック別実車走行キロ当たりの原価

	原価	収入
北海道	259.91	215.90
北海道	324.10	316.31
東北	300.18	252.61
羽越	301.86	231.30
長野	398.55	329.87
北関東	277.24	264.18
千葉	480.09	517.38
武蔵・相模	500.33	494.81
京浜	619.97	654.25
山梨・静岡	333.17	331.88
東海	333.67	291.08
北陸	365.05	359.71
北近畿	335.59	303.97
南近畿	393.54	357.60
京阪神	492.05	493.73
東中国	266.28	218.73
西中国	356.20	308.91
四国	295.10	216.12
北九州	346.15	328.60
南九州	233.96	195.31
沖縄	213.50	180.49
全国	384.29	366.16

単位：円/km

表 全国ブロック別実車走行キロ当たりの収入と原価

○規制の緩和



(注) 鉄道の廃止予定路線については、国土交通省に鉄道事業の廃止を届け出て、現在まで後継事業者が確定していない路線を記載している。
 なお、廃止予定年月は鉄道事業廃止届出に記載されている年月を記載している。

出典：国土交通省資料

図 平成12年以降の地方部の鉄道の廃止路線(予定含む)

○バス運行のサービス配分

人口密度との不一致

①公共交通空白地域の従業人口密度

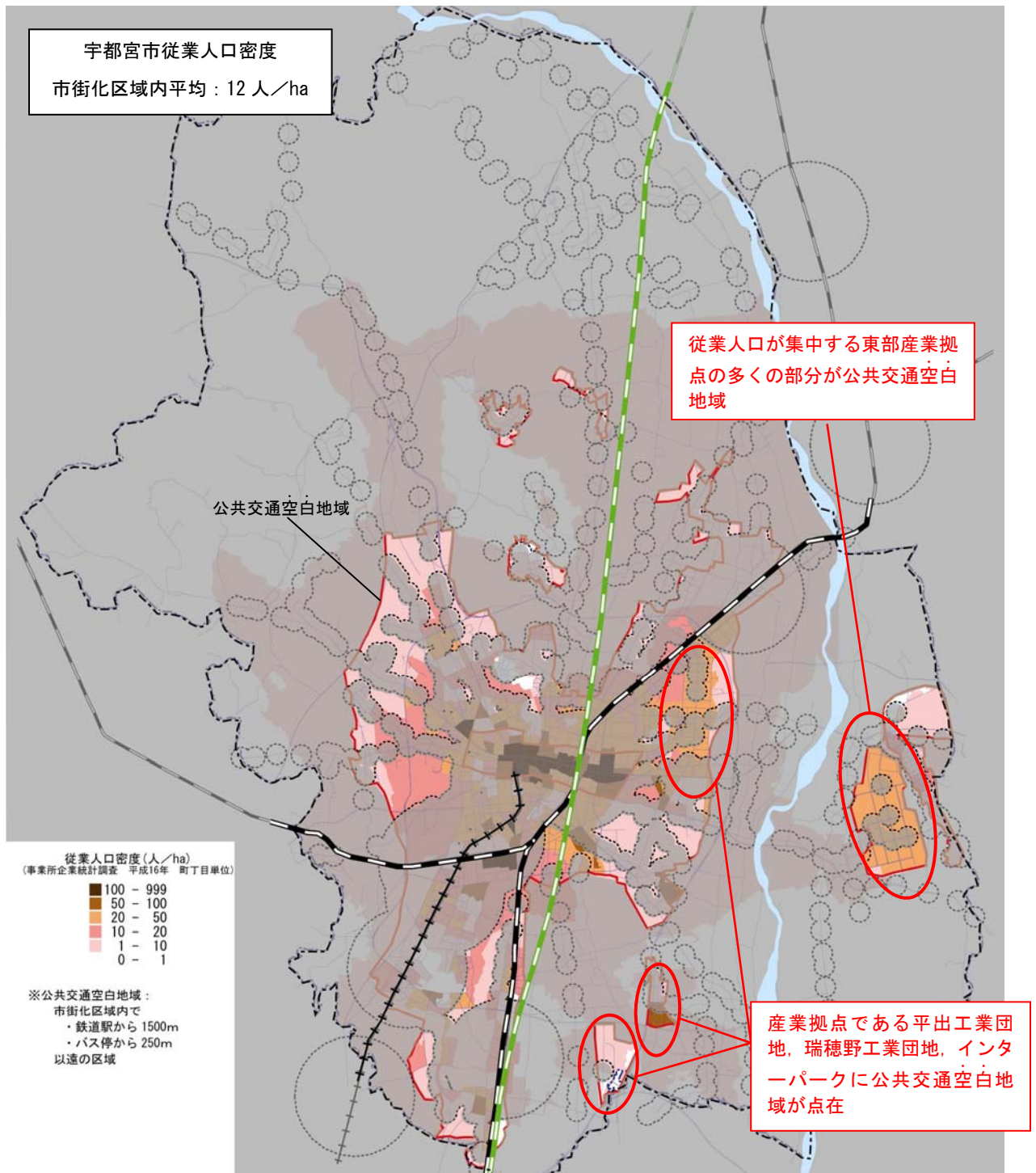


図 市街化区域における公共交通空白地域の従業人口密度

②公共交通不便地域の夜間人口密度

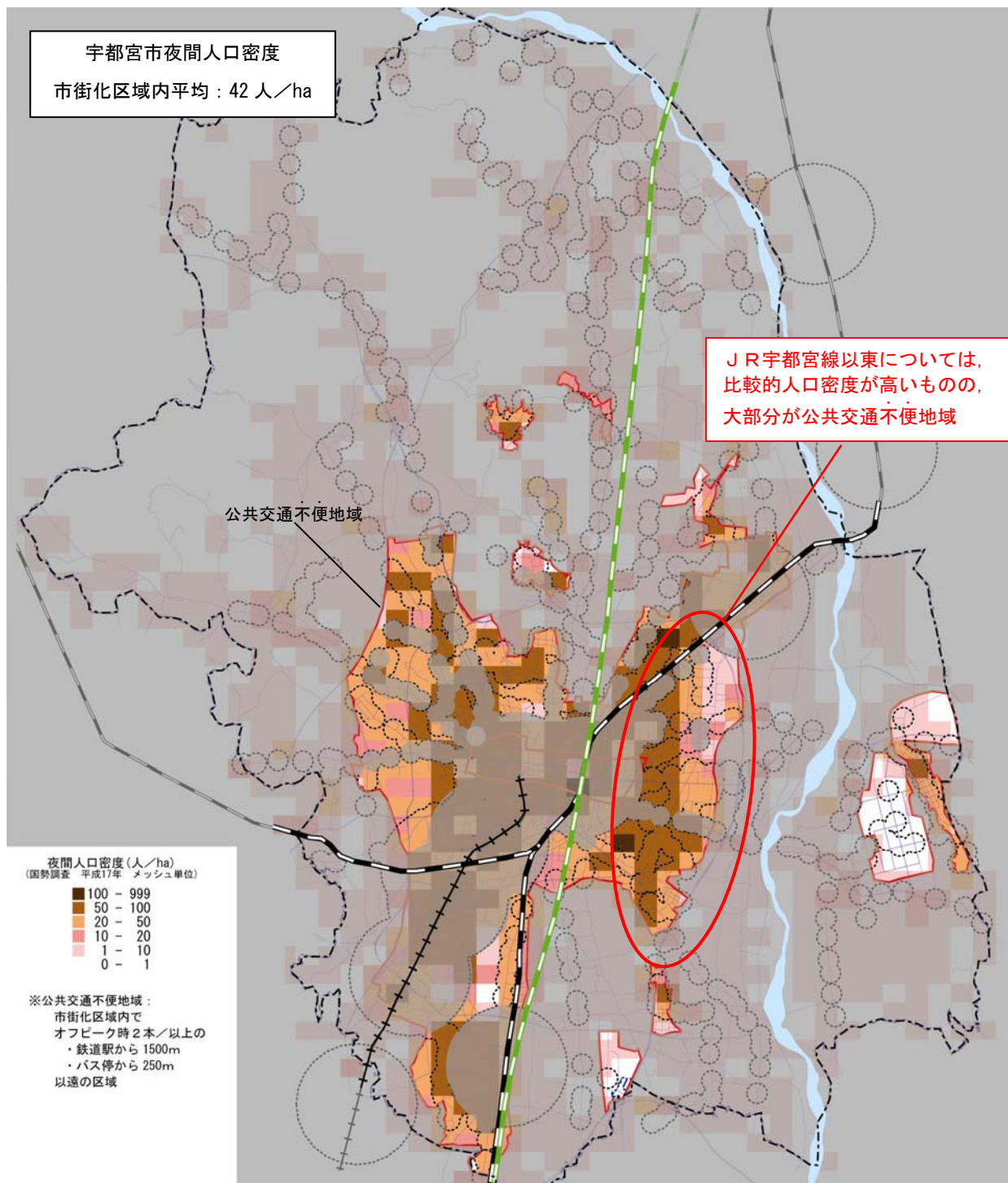


図 市街化区域における公共交通不便地域の夜間人口密度

③公共交通不便地域の従業人口密度

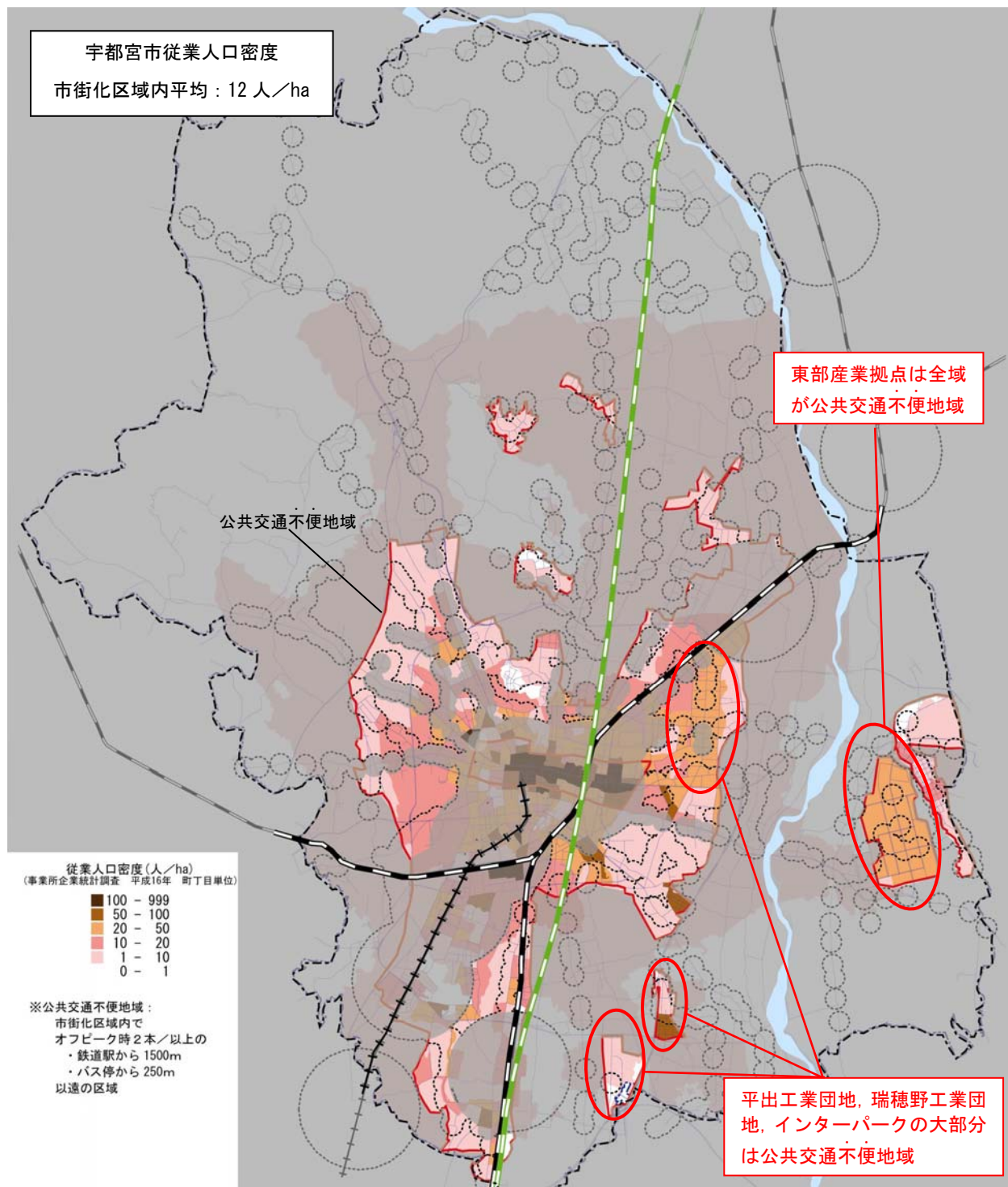


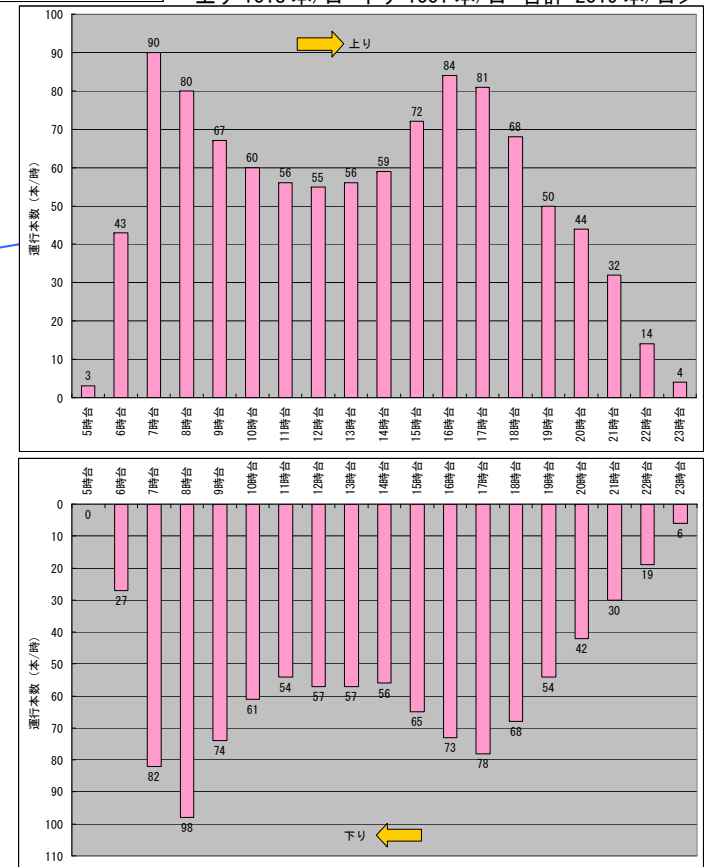
図 市街化区域における公共交通不便地域の従業人口密度

○ 大通り周辺のバス運行状況

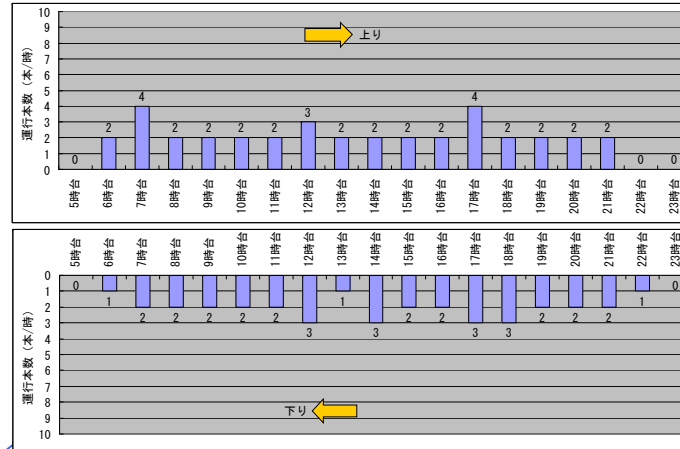


※ 夏季のみ運行除く 23時には深夜バス(料金2倍含む)
 ※ 資料各社バス時刻表(平成20年9月現在)

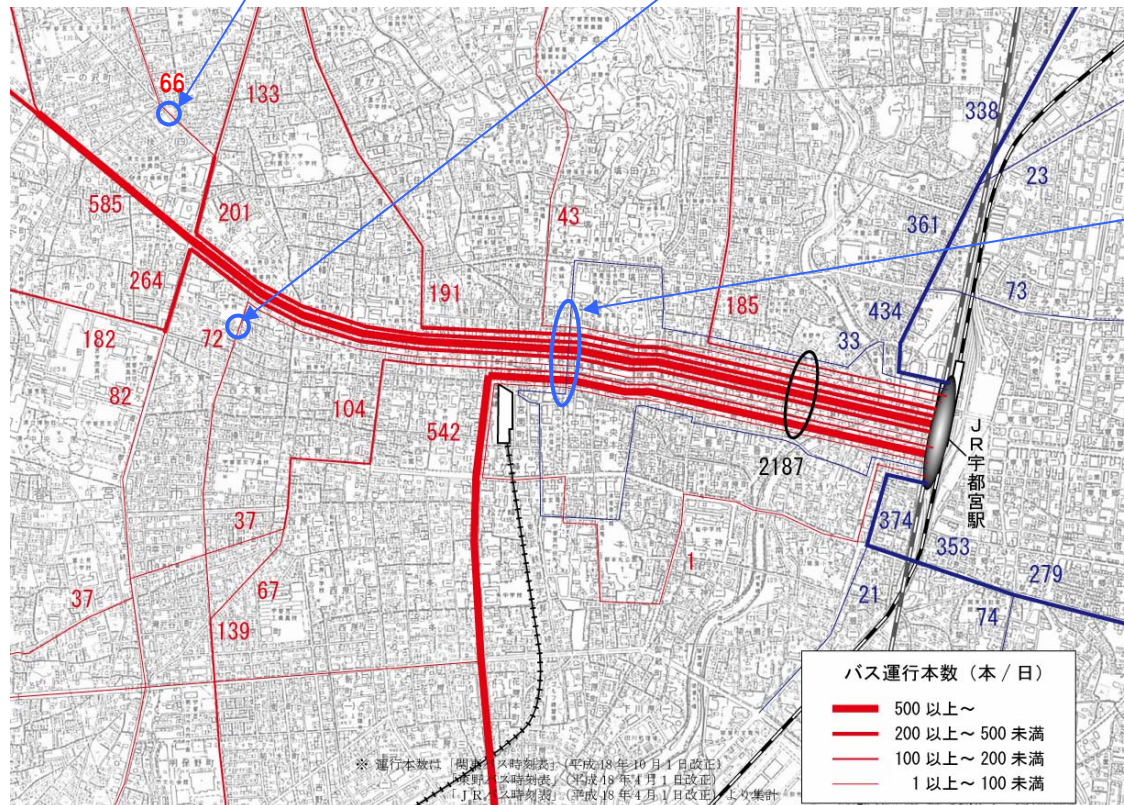
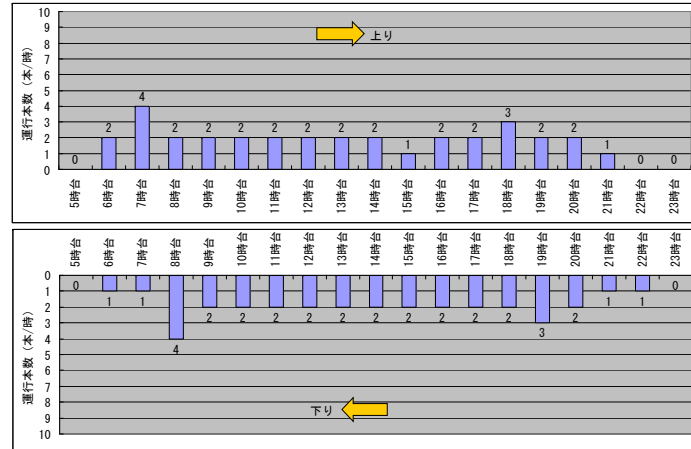
＜大通りの県庁前バス停:
 上り 1018本/日 下り 1001本/日 合計 2019本/日＞



＜桜小学校前バス停:上り 37本/日 下り 35本/日 合計 72本/日＞



＜戸祭小学校入口バス停:上り 33本/日 下り 33本/日 合計 66本/日＞

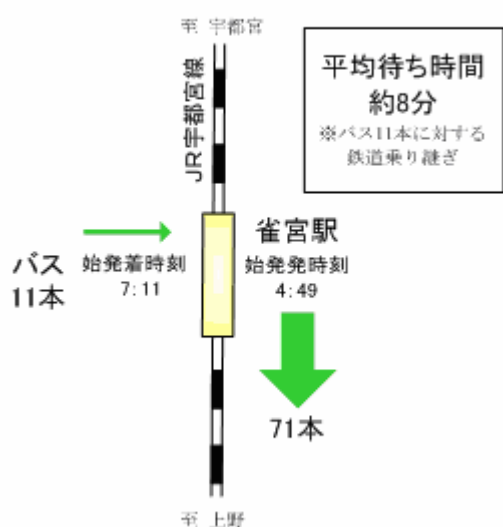


○公共交通の相互連携

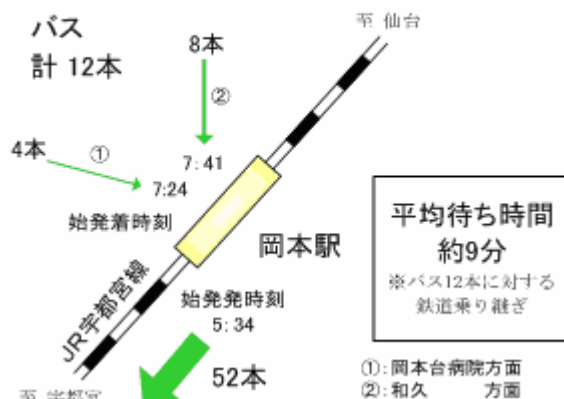
J R雀宮駅，J R岡本駅では，鉄道とバスのダイヤに一定の調整が図られていますが，バスの結節本数が少なく1日に20本未満の状況にあります。

また，J R雀宮駅，J R岡本駅等では，バスが駅近くまで乗り入れる駅前広場やアクセス道路の整備が十分ではありません。

<JR宇都宮線 雀宮駅>



<JR宇都宮線 岡本駅>



<JR日光線 鶴田駅>

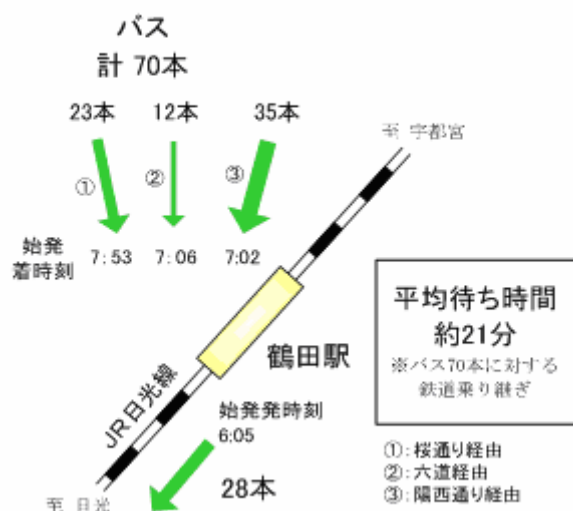


図 主な鉄道駅でのバスと鉄道の運行本数と乗り継ぎ状況

○JR宇都宮駅西口バスのりばの状況

JR宇都宮駅西口は、バスの発着本数が多く乗り継ぎしやすい一方、17ヶ所のバスバースが存在し、ピーク時には10分間（8時から8時10分）に約40本のバスが発車しており、市民にも早発バスが分かりにくい状況です。

このような状況から、JR宇都宮駅は、市民のみならず、新幹線を利用した来街者にも分かりにくくなっています。

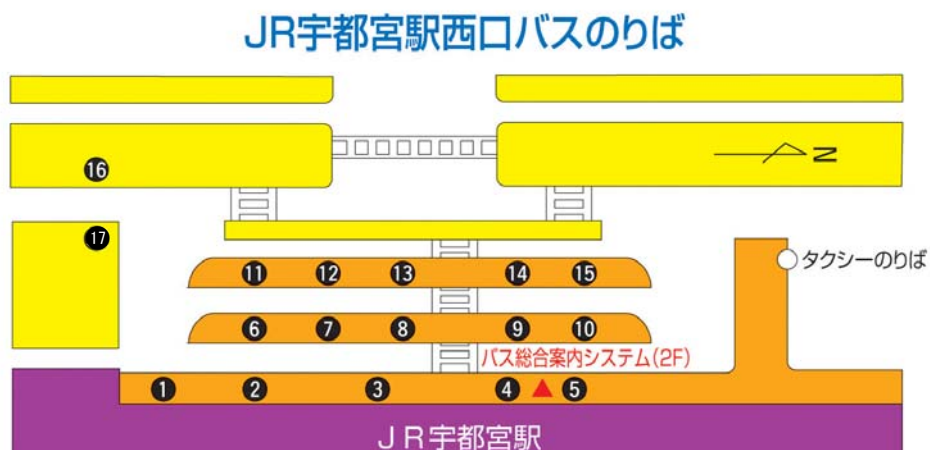
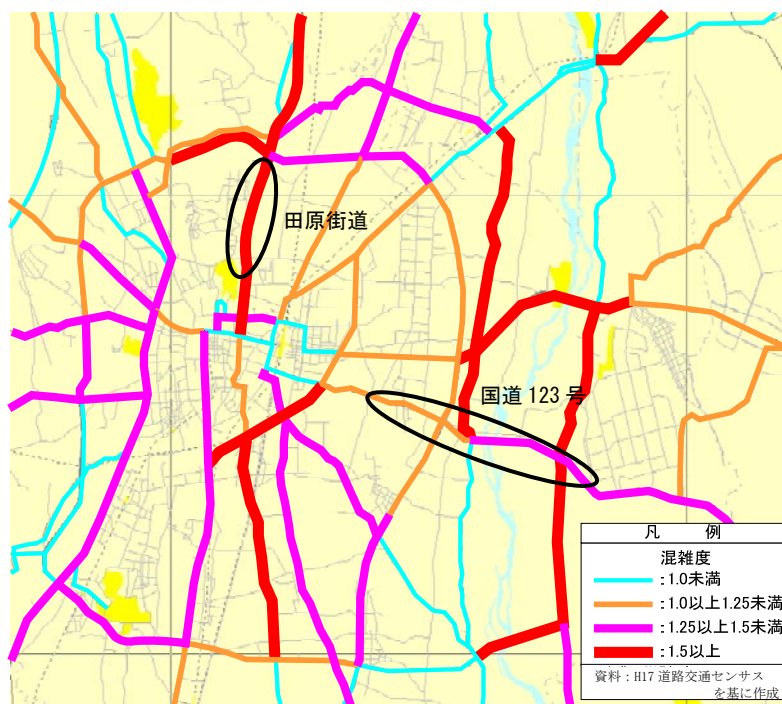


図 JR宇都宮駅西口バスのりばの配置状況

○定時性・快適性等

周辺部において道路混雑により、バスの運行が遅れている路線がみられ、JR宇都宮駅西口では、バスバースに一般車両等の流入が多く、バスと一般車両の輻輳が発生しています。

バス専用・優先レーンについては、一般車両が進入するなど規制が遵守されていません。また、人にやさしいノンステップバスの導入は、現時点で14%程度、バス停の上屋の設置率も3%程度と、快適性に関わる車両、施設整備は遅れています。



混雑度 = 交通量 ÷ 交通容量

図 道路の混雑状況と遅延がみられるバス路線の一例



図 バス・タクシー・一般車両が輻輳するJR宇都宮駅西口

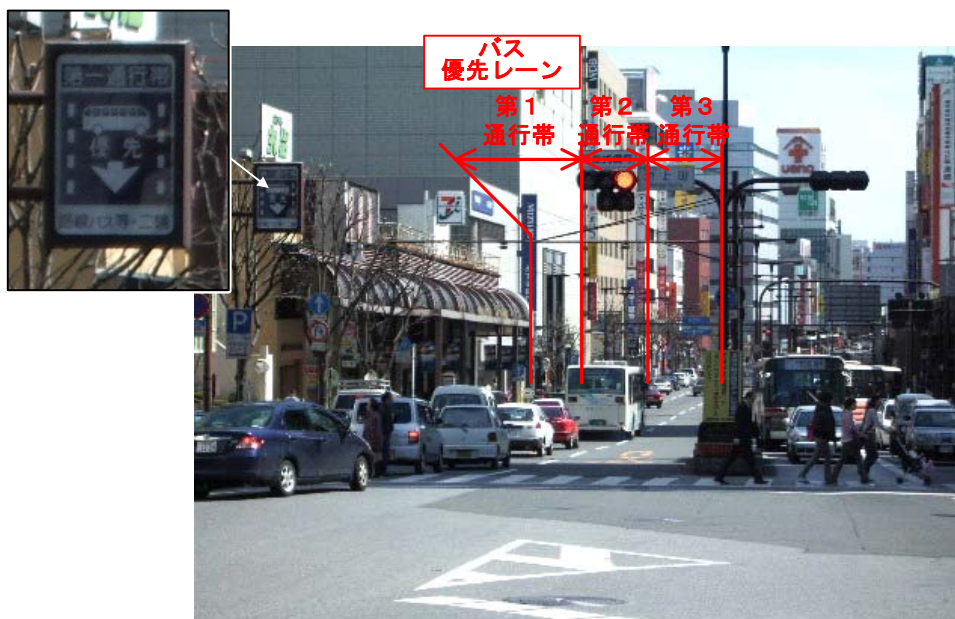


図 バス専用・優先レーンの規制が遵守されていない状況

表 乗合バスに対する低床車両の導入実績

導入時期	導入台数	備考
～平成 16 年	14 台	
平成 17 年	4 台	
平成 18 年	7 台	
平成 19 年	17 台	
合 計	42 台	乗合バス車両総数(307 台)の 14%に相当

資料：宇都宮市交通政策課

表 バス停上屋の設置状況（宇都宮市内）

	バス停数（本）	上屋（基）	設置率（%）
関東自動車株	2,268	46	2.0
東野交通株	240	19	7.9
ジェイアールバス関東株	110	3	2.7
合 計	2,618	68	2.6

（平成 18 年 4 月現在）

資料：宇都宮市交通政策課

付 属 資 料 編

検 討 過 程

○ 「宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会」の設置

・平成19年12月19日

学識経験者・市民・交通事業者・行政機関による「宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会」を設置

○ 協議会の開催状況

回数	開催期日	主な検討内容
第1回	平成19年12月19日	1) 都市・地域交通戦略について 2) 宇都宮市が目指す都市交通の将来像
第2回	平成20年5月22日	1) 基本理念について 2) 第5宇都宮市次総合計画における将来まちづくりについて 3) 交通の現状と課題および対応の方向について
第3回	平成20年12月2日	1) 宇都宮市における公共交通ネットワークの重点課題と対応の方向性について 2) ネットワーク再構築における総合的な対応について
第4回	平成21年2月23日	1) 交通ネットワークについて 2) 目標とする交通環境と役割・施策事について 3) 推進体制と運行管理について 4) 報告書骨子(案)について
第5回	平成21年3月23日	1) 宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会報告書(案)について

○ 報告書の提出

・平成21年4月30日

協議会から、宇都宮市長あて「宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会報告書」が提出

○ 行政計画素案の確定【宇都宮都市交通戦略】

・平成21年7月30日

○ パブリックコメントの実施

・平成21年8月3日から平成21年9月3日

宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会委員名簿

委員区分	氏名	所属・職	備考
学識経験者	森本 章倫	宇都宮大学大学院准教授	委員長
	藤本 信義	宇都宮大学名誉教授	
	大森 宣暁	東京大学大学院講師	
	永井 護	宇都宮大学教授	
交通事業者	大森 郁雄	東日本旅客鉄道株式会社大宮支社企画室長	
	猪森 信二	東武鉄道株式会社経営企画部長	
	斉藤 俊夫	関東自動車株式会社路線バス事業部長	
	根岸 孝男	東野交通株式会社取締役業務部長	
	大井 康裕	ジェイアールバス関東株式会社宇都宮支店長	
	保坂 和夫	関東交通株式会社代表取締役	
関係団体	小関 秀明 (小林 久夫)	宇都宮商工会議所理事	
	磯野 浩久	社団法人宇都宮青年会議所理事	
	大竹 泰二	社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会副会長	
	近藤 和雄 (佐藤 孝二)	NPO法人栃木県環境カウンセラー協会理事長	
	楠 澗 澄江	宇都宮市地域婦人会連絡協議会会長	
	金枝 右子	宇都宮消費者友の会会長	
市民代表	加藤 和正	公募市民	
	瀧田 剛也	公募市民	
行政委員	赤星 健太郎	関東地方整備局建政部都市整備課長	
	緑川 和由	関東地方整備局宇都宮国道事務所長	
	廣田 健久	関東運輸局企画観光部交通企画課長	
	池澤 昭	栃木県県土整備部参事兼交通政策課長	
	中沢 豊 (新井 一夫) (奥村 俊夫)	栃木県警察本部交通規制課長	
	大林 厚雄	宇都宮市総合政策部副参事（LRT担当）	
	飯野 彰 (阿久津 茂)	宇都宮市建設部土木管理課長	

宇都宮市総合政策部交通政策課

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1-5

TEL 028-632-2132 FAX 028-632-5422

E-mail u2015@city.utsunomiya.tochigi.jp

